

令和3年度施政方針に対する会派代表質問

市議会2月定例会において、令和3年度市政方針並びに教育行政執行方針に対し、会派を代表して松井雅宏議員が代表質問を行いました。

代表質問は、市の令和3年度のまちづくりに対し、会派としての見解を示しながら取り組みの方向性を確認する重要な質問で、質問内容の検討にあたっては、何度のも会派会議を重ねて、会派の政策予算要望や各議員が継続的に取り組んできたテーマを中心に組み立てて行いました。

以下の13項目について、会派の考えや様々な提案を交え1時間にわたり議論させていただきました。

1、**新年度予算**
 予算フレームについて
 地方創生臨時交付金事業について
 令和3年度地方財政の見通し・予算編成上の留意事項等の対応について

(3) (2) (1) 13、12、11、10、(2) (1) 9、8、7、(2) (1) 6、5、4、3、(2) (1) 2、(4)

予備費について
 新型コロナウイルス市内感染状況と対応について
 緊急経済対策について
 自治体トランスフォーメーション(TOX)について
 立地適正化計画について
 脱炭素社会について
 国際リゾート構想
 国際交流拠点構想実施計画について
 IR誘致について
 中小企業振興について
 児童虐待防止について
 港湾行政
 国際コンテナターミナルについて
 釣り解放事業について
 一般廃棄物処理基本計画の改訂について
 北洋大学について
 レッドイーグルス北海道への支援について
 教育行政
 苫小牧支援学校について
 35人学級と小学校専任教諭の配置について
 読書教育の推進について

改革フォーラム 市政レポート

令和3年度上期号

苫小牧市議会
会派改革フォーラム市政報告
連絡先：苫小牧市旭町4-5-6
0144-32-6785

令和3年度 予算と改革フォーラムの取り組み

施策・事業	予算額	会派要望及び議会・委員会での議論・提言
まちなか再生総合プロジェクト事業	2,353万円	子ども・子育て居場所づくり支援やまちなかへの居住人口誘導対策など
再生可能エネルギー基本戦略構築事業	500万円	脱炭素社会に向けた取り組み強化の必要性など
企業立地振興条例助成	1億4000万円	水素エネルギーなど新たな産業分野の企業誘致促進
立地企業サポート事業	4,725万円	中小企業の働き方改革への支援など
子どもを虐待から守る条例啓発事業	110万円	市民から寄せられる虐待通報への適切な対応など
空き家等対策推進事業	343万円	空き家等解体助成金の拡充など
高齢者安全運転支援装置設置促進事業	180万円	後付けのペダル踏み間違い防止装置設置の支援補助の創設
資源リサイクル運動推進事業	2億円	生ごみ減量の取り組み強化、家庭ごみ戸別収集モデル事業の見直しなど
苫小牧市事業承継推進事業	350万円	親子間や従業員への事業承継支援への拡充など
新千歳空港整備事業費負担金	4,400万円	鉄道網を含めた2次交通のアクセス向上、空港内における市民雇用の拡大など
学習用ICT環境整備事業	1億8000万円	教員の指導力向上の取り組み強化など
外国語教育推進事業	6,777万円	外国語指導助手(ALT)の増員による英語教育の充実・強化など
市民ホール整備運営事業	2,359万円	PFI方式を採用した場合の地元事業者の活用など
行政情報配信サービス事業	50万円	テレビの地上デジタル放送を活用した市民向け行政情報の発信の取り組み



発展する苫小牧と共に豊かな暮らしを実現します。

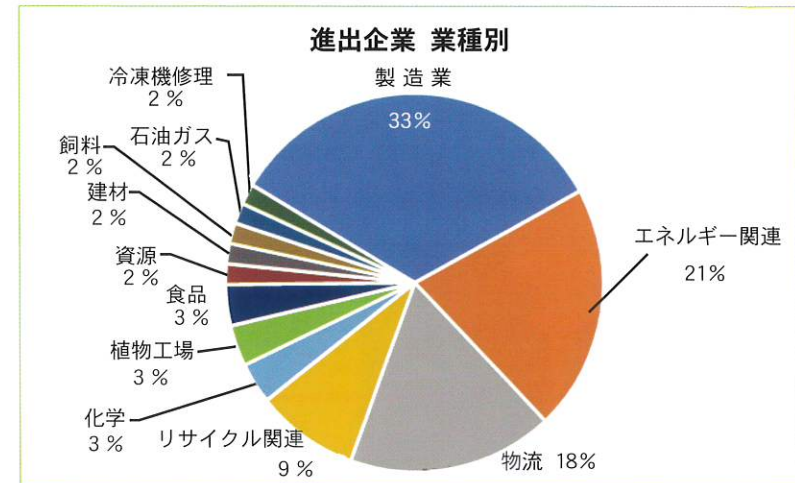
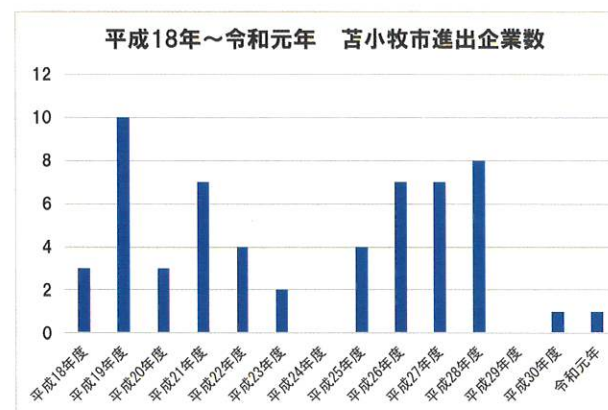
牧田としゆき 市政報告

主な役職：安全・安心及び市民ホールに関する特別委員会 委員長
 苫小牧連合議員団会議会長
 東開町内会副会長

〒059-1301
 苫小牧市東開町2丁目4-27
 携帯 090-2077-6544

12月議会一般質問・産業振興

(1) 企業誘致



平成18年以降毎年4社程度苫小牧市へ新規に企業進出があったが、平成30年以降は少ない。これまでは自動車関連を中心とする製造業が多かった。これからは苫小牧の特性を活かし食関連産業の誘致に力を入れるべき。昨年5月東港區に竣工した(温度管理型冷凍冷蔵倉庫)を誘致の呼び水とするように要望しました。

【温度管理型冷凍冷蔵倉庫】



北海道クールロジスティクスプレイス

(2) カーボンニュートラル

苫小牧市の脱炭素社会への取組について質疑いたしました。

平成28年「苫小牧水素エネルギープロジェクト会議」を設立。これまで情報収集・先進地視察等を実施してきた。国家プロジェクトのCCS大規模実証試験は注入完了し現在モニタリング中。

カーボンリサイクルの実証試験の実施に向けた検討を開始している。経産省が船舶でのCO2輸送の実証試験に向けた予算要求をしたと聞いている。これらの状況を踏まえ、「苫小牧CCUS・カーボンリサイクル促進協議会」へと改組しました。

水素ステーションについては現段階ではまだまだ高額な費用が掛かる。関係機関の動向を注視し検討していきたい。

経済産業省が進めるカーボンリサイクル実証事業



議会中間人事(5月臨時議会)

任期中期での改選を行いました。
 会派幹事長、安全・安心及び市民ホールに関する特別委員会委員長を拝命いたしました。